

2024 年度 個人研究実績・成果報告書

2025 年 3 月 26 日

所属	基盤教育機構	職名	准教授	氏 名	田中信一郎
研究課題	エネルギー政策を補助線とする地域再生政策の研究				
研究キーワード	公共政策、自治体、地域経済、エネルギー、人口減少	当年度計画に対する達成度	2.順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた		
関連するSDGs項目	7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに	11. 住み続けられるまちづくりを	13. 気候変動に具体的な対策を	17. パートナリーシップで目標を達成しよう	

1. 研究成果の概要

- ① ウェルビーイングとサステナビリティの両立に関して研究を行い、7 月 6 日の日本社会関係学会研究会で報告した他、千葉商大紀要第 62 号に「サステナブルでウェルビーイングな都市とはどのようなものか？」との論文を寄稿した。
- ② 長野県「県庁省エネ改修設計アドバイザー」として、公共施設として日本初となる断熱化による長寿命化改修の設計に関して、持続可能性を高める観点から助言を行った。
- ③ 北海道ニセコ町を訪問し、断熱住宅群の「ニセコミライ」について調査すると共に、ニセコ町長などの関係者と意見交換を行った。
- ④ 長野県北信地域において、防災の専門家と共に調査を行い、長野県北信地域振興局長を含む関係者と意見交換を行った。
- ⑤ 岡山県真庭市を訪問し、木質バイオマス事業について調査すると共に、関係者と意見交換を行った。
- ⑥ カードゲーム「2050 カーボンニュートラル」の体験会を学内で開催した。
- ⑦ 学長プロジェクト4での活動に関連して「自然エネルギー大学リーグ」の事務局長を務め、2024 年 8 月 30 日に長野県立大学において特別フォーラムを開催した。また、文部科学省の主導で結成された「カーボンニュートラルに貢献する大学等コアリション」に本学の担当者として関与し、愛媛大学、岡山大学の関係者と意見交換を行った。
- ⑧ 事例及び文献の収集：人口減少社会・持続可能社会を考察するための文献収集を幅広く行うとともに、内閣府、環境省、長野県、上士幌町、鹿追町、ニセコ町、市川市、匝瑳市、上田市、新発田市、塩尻市、長和町、真庭市等の関係者と人口減少等について意見交換を行った。

2. 著書・論文・学会発表等

(できるだけご記入ください。査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載)

【著書・論文（査読なし）】

- ① 著書（共著）：丸山康司・本巢芽美編 [2024] 『〈よい再エネ〉を拡大する』法政大学出版局
- ② 論文（単著）：田中信一郎 [2024] 「サステナブルでウェルビーイングな都市とはどのようなものか？」千葉商科大学国府台学会『千葉商大紀要』第 62 号
- ③ 論文（単著）：田中信一郎 [2024] 「北海道ニセコ町における断熱住宅の普及事例」千葉県地方自治研究センター『自治研ちば』第 45 号

【学会発表等】

- ① 「サステナブルでウェルビーイングな都市とはどのようなものか？」日本社会関係学会研究会（日本大学）2024 年 7 月

- ② 「公共施設から始める人口減少時代の脱炭素まちづくり」ゼロカーボン・かみしほろサミット 2024（上士幌町役場）2024 年 10 月
- ③ 「千葉商科大学の自然エネルギー100%大学プロジェクト」愛媛大学カーボンニュートラル公開シンポジウム（愛媛大学）2024 年 10 月

3. 主な経費

- ① 北海道ニセコ町等での調査を実施（2024 年 8 月 23 日～8 月 26 日）
- ② 長野県北信地域での調査を実施（2024 年 9 月 24 日～25 日）
- ③ 岡山県真庭市での調査を実施（2025 年 2 月 27 日～28 日）

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

- ① 内閣府 デジタル田園都市国家構想交付金評定委員会 委員
- ② 内閣府 地方創生関係交付金の効果検証に関する検討会 委員
- ③ 長野県 県庁省エネ改修設計アドバイザー
- ④ 白井市 まちづくり審議会 委員
- ⑤ 匝瑳市 脱炭素推進委員会 副委員長
- ⑥ 長野県 幹部職員研修 講師
- ⑦ 市町村職員中央研修所（市町村アカデミー） 講師
- ⑧ 明治大学政治制度研究センター 客員研究員

（本文は2ページ以内にまとめること）